

禍福は門なし、ただ人の召く所。

左伝

君子は心を勞し、小人は力を勞す。

左伝

国の將に興らんとするや、民に聴く。將に亡びんとするや神に聴く。

左伝

国の將に亡びんとするや、必ず制多し。

左伝

人、学ばざれば、道を知らず。

礼記

学びて然る後に足らざるを知り、教えて然る後に困しむを知る。

礼記

身体髮膚、これを父母に受く、敢えて毀傷せざるは、孝の始めなり。
身を立て道を行い、名を後世に揚げ、以て父母を顕すは、孝の終わりなり。

孝経

上に在りて驕らざれば、高くとも危うからず。

孝経

四十余年睡夢の中、而今醒眼始めて朦朧、知らず日已に、亭午を過ぐるを、起ちて高楼に向みて、曉鐘を撞く。起ちて高楼に向みて、曉鐘を撞く。尚お多くは昏睡正に懵々、たとえ日暮るるとも、醒めるを猶お得ん。信ぜず人間耳尽く聾すと。

王 陽明

人生の大病は、ただこれ一の傲の字なり。

王 陽明

時々刻々、須くこれ一棒一条痕、一握一掌血なるべし。

王 陽明

志立たざれば、舵なき舟、轡なき馬の如し。

王 守仁